

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		双子川浄苑周辺環境整備事業				②事業番号		3212	
③事業類型		7. 負担金・補助金事業				④開始年度		昭和 54 年度	
						⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱	
						計画等		○ その他	
						法令等の名称		各自治会との覚書・確認書等による	
⑦実施手法		直営		全部委託		一部委託		○ 補助・負担	
								その他	
⑧関連予算科目コード		款		4		項		2	
								目	
								2	
⑨担当部名		市民生活環境部		⑩担当課名		環境整備課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 桜井西町会、大苗代区自治会、下村区自治会		① 団体数		団体	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
し尿処理施設設置に伴う地域の環境保全の為に、周辺自治会に補助金を支払うことにより、その役務を担ってもらっている。		① 環境活動(地域清掃等)		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
補助金を支払うことにより、周辺環境の保全の為に活動してもらう。		① 環境活動(地域清掃等)		回	
		① 計算式			
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
周辺環境の保全により、公害の発生を予防する。		政策(章) 5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち			
		施策大(節) 3 日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします			
		施策中 1 資源・エネルギー有効利用の推進			
		施策小 1 公害の予防			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	団体数	団体	3	3	3	3	3	
対象指標②								
活動指標①	環境活動(地域清掃等)	回	18	18	18	18	18	—
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	環境活動(地域清掃等)	回	18	18	18	18	18	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.27	0.05	0.15	0.15		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.25	0.25		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,189	386	1,898	1,898		平成28年度から大阪湾圏域に広域処理場を建設するにあたって、その建設費の一部を負担。(年間3万円程度。市人口と年間廃棄物投入量等で金額が決まる)
	直接事業費	千円	5,086	5,046	5,034	5,044		
	総事業費	千円	7,275	5,432	6,932	6,942		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	7,275	5,432	6,932	6,942		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	現在のし尿処理施設増設にあたり、周辺環境への配慮。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	生活環境への意識の高まりとともに、より一層のきめ細かい配慮が必要になる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ イ ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (____ 年まで) (____ 年から) (____ 年から)	
＜今後の展開方針＞ Ｃ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	R4.7月の地元自治会との覚書の再締結に向けてR4.1月より協議を開始する。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—